

令和8年度 事業計画

2026年6月22日
北海道観光機構
事業本部

R8年度HTOの方針 「稼ぐ」・「信頼される」・「続く」観光を北海道からカタチにする

1. 「稼ぐ」観光

— 消費額と付加価値を高め、地域にお金が残る観光へ —

- ・ 人数偏重から脱却し、観光消費額・滞在日数・再訪を重視
- ・ 食・自然・文化など、北海道らしい高付加価値化
- ・ 宿泊・交通・体験・物販をつなぐ「稼げる導線」の構築

▶ 観光が地域経済を支える力になる



2. 「信頼される」観光

— 説明でき、理解され、共感される観光へ —

- ・ 観光財源の透明性と目的性の確保
- ・ 行政・事業者・道民・来訪者との丁寧な対話と情報発信
- ・ 観光機構が調整役ではなく、責任ある提言者として行動

▶ 「なぜ必要か」「どう使われるか」が見える観光

3. 「続く」観光

— 人と地域が持続できる観光基盤づくり —

- ・ 観光人材の育成・定着・現場と経営の両輪強化
- ・ 二次交通・広域連携・受入環境の実効性向上
- ・ 災害・環境・人口減少を見据えたレジリエントな観光地づくり

▶ 次の世代に繋げられる観光へ

R8年度組織体制(事業本部)

1. 広域連携DMO機能

- ・北海道観光を主導的に創造
- ・全道的な中長期的課題の解決
- ・満足度向上、地域理解

2. 中長期的な事業運営と戦略策定

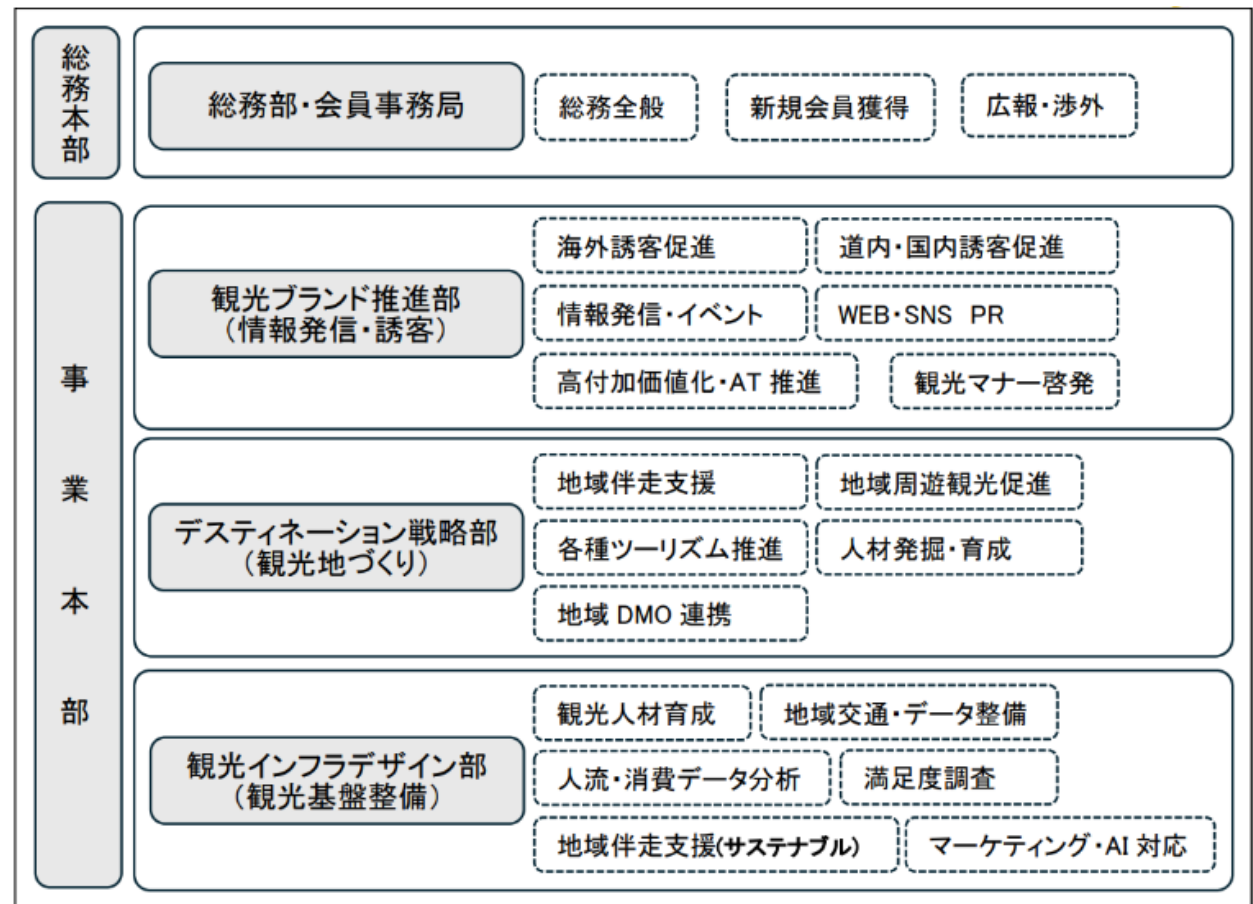
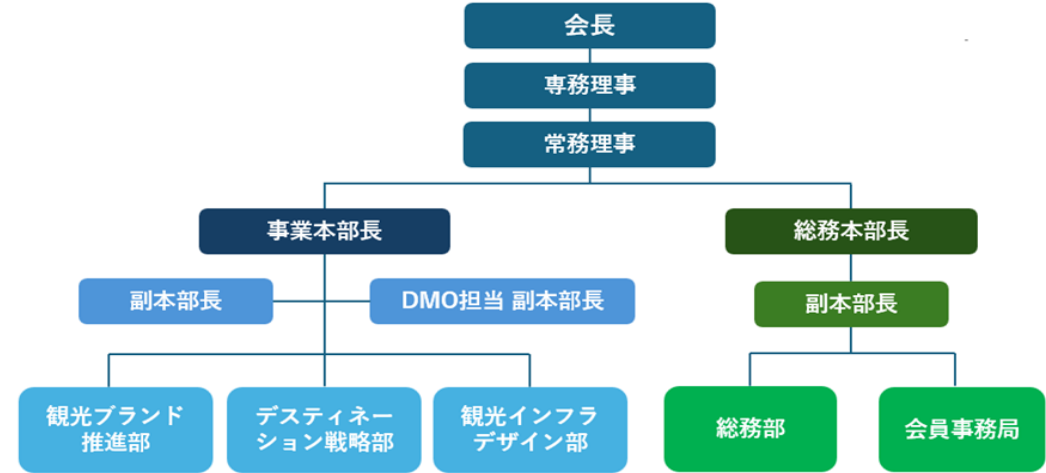
- ・広域連携観光戦略の再構築
- ・財源拡大→成果獲得→事業再編

3. 事業の成果追求、各事業・地域との連携

- ・目標明確化（KGI/KPI）
- ・複数年の進捗管理

4. ガバナンス強化と個の力を活かす担務

- ・公益社団法人（透明性・公益性）
- ・広域連携DMO登録要件に沿った事業運営
- ・規程類整備など



主なR8事業計画(観光ブランド推進部) 1／5



誘客促進強化事業（国内外からの観光客誘致）

部合計：1,000,430千円

事業名	概 要	(財 源)	予算(千円)
他県連携相互送客促進事業	・直行便就航地域と連携したプロモーションの実施 ・相互送客促進に向けた観光需要喚起	負担金	62,033
大規模イベント出展事業	・ツーリズムEXPOジャパンなど、大規模旅行博等に出展し、一般消費者に向けて旅行需要を喚起		50,514
WEB・SNSプロモーション	・WEB・SNSを活用した効果的な情報発信 ・発信時期やコンテンツの検討による季節、地域偏在解消		64,000
PRツール制作	・イベント等で活用するノベルティの作成や旅行の動機付けとなるPRツールの開発		11,856
マーケティング人材強化事業	・SNSによるプロモーションとマーケティング力強化 ・観光機構がSNS発信主体として自走化・ノウハウ蓄積		7,793

主なR8事業計画(観光ブランド推進部) 2/5



誘客促進強化事業（国内外からの観光客誘致）

事業名	概 要	(財 源)	予算(千円)
大規模メディア プロモーション	・TVCM、新聞、交通広告、大型ビジョン、SNS等のWEB 広告を媒体として誘客プロモーションを実施	負担金	47,000
	・道民の道内旅行需要の喚起のため、札幌近郊の道民に 向けて道内各地の魅力ある観光情報を発信		46,850
観光情報交換会	・大都市圏の旅行会社やメディアに向けて、全道の観光関 係者が最新の北海道観光情報を発表		9,743
メディアタイアップ 事業	・閑散期の道央以外をPRする番組・記事の制作に係る取 材費補助		33,509
交通連携 プロモーション	・交通各社(航空機・新幹線・フェリー)と連携し、閑散期搭 乗キャンペーンを実施		45,800

主なR8事業計画(観光ブランド推進部) 3／5



誘客促進強化事業（国内外からの観光客誘致）

事業名	概 要	(財 源)	予算(千円)
旅行商品造成事業	・航空機を活用した閑散期の道央以外の新規旅行商品の 広告宣伝補助	負担金	35,000
欧米豪市場 誘客促進	・長期滞在が見込まれ、観光消費額単価の高い欧米豪から 誘客を促進(欧米豪観光レップ、スキープロモーション 等)		169,552
SNS情報発信事業	・WEB・SNSを活用した効果的な情報発信 ・発信時期やコンテンツの検討による季節、地域偏在解消		34,000
東アジア市場 誘客促進	・来道者数が最も多く、リピーター率が高い東アジアから の誘客を促進		33,600
東南アジア市場 誘客促進	・道の閑散期が旅行シーズンと重なる東南アジア市場から の誘客を促進		82,604

主なR8事業計画(観光ブランド推進部) 4/5

誘客促進強化事業（国内外からの観光客誘致）

事業名	概 要	(財 源)	予算(千円)
アジア市場相互 送客事業	・国際線直行便の新規就航、再開等路線維持のため、双方 向プロモーションを実施	負担金 (一部補助金)	23,200
地方空港 プロモーション事業	・地方空港への新規就航及び既存路線の維持拡大のため、 プロモーションを実施		22,153
インド市場誘客強化	・人口が多く、市場規模が大きいインド市場からの誘客を 促進		33,427
中東市場誘客強化	・富裕層割合が高い中東市場について、誘客可能性を検証		3,195
国際旅行博出展等	・BtoB情報発信、ノベルティ制作、観光PR催事ほか		32,763

アドベンチャートラベル推進事業

事業名	概 要	(財 源)	予算(千円)
アドベンチャートラベル推進事業	・海外からのATの顧客に対応した受入体制の構築、戦略的な市場開拓及び地域の取組を支援し、本道観光の高付加価値化を進める	負担金	91,344
アジア圏におけるAT商品販売促進事業	・アジア圏におけるAT商品の販売促進プロモーションを実施する		27,731
北海道観光誘致推進事業			
北海道観光誘致推進事業(海外誘客)	・海外からの誘客を図るためのプロモーションの実施	負担金	32,763

主なR8事業計画(デスティネーション戦略部)1/2

広域連携DMOとして、地域間連携や観光地づくりを支援・展開

部合計：390,862千円

事業名	概 要	(財 源)	予算(千円)
伴走支援事業	地域のDMOや観光協会、自治体などが地域課題を解消するため取り組む受入施策を支援。	負担金	175,526
地域プロモーション事業	地域の分科会が、地域偏在、季節偏在の課題に基づき、独自の国内外へのプロモーション事業を展開。 (道南、道央、道北、道東4地域分科会の運営)	負担金	60,000
北海道教育旅行活性化事業	道外の修学旅行を誘致するため、教員の道内招聘や、発地での相談会開催などを展開(増加傾向にある関東の中学校への集中的なセールス、関係者道内視察等)	負担金	22,414
MICE誘致支援事業	道内の季節偏在、地域偏在解消のため、アジア(台湾等)での商談会、セールスコールの実施、現地の関係者の道内招聘を実施し地方部の滞在日数増加を図る。	負担金	9,644

主なR8事業計画(デスティネーション戦略部)2/2

広域連携DMOとして、地域間連携や観光地づくりを支援・展開

事業名	概 要	(財 源)	予算(千円)
ユニバーサルツーリズム推進事業	誰もが安心して道内旅行を楽しめる環境づくりの実施。 (バリアフリー対応の情報発信、受入対応の実証、ムスリム、ベジタリアン対応(食のユニバーサル)強化など)	負担金	19,873
ATハンズオン支援事業	地域の受入体制を構築(コンテンツの発掘・磨き上げ、人材の育成、ツアー商品の造成・販売などの課題解決。)	負担金	20,832
ATガイド人材育成事業	道内で活動するガイド等を対象とした各種研修を実施。 (野外救急法研修、アクティビティガイド研修、スルーガイド人材育成、サステナブル研修、アウトドア人材発掘セミナー)	負担金	37,797
ATガイド能力向上事業	国際的に評価されるガイドの育成。 (海外ガイドによる国内フィールド研修、ガイド等海外派遣研修事業)	負担金	44,776

主なR8事業計画(観光インフラデザイン部)1/2



データ整備や観光人材の育成・確保などの観光インフラ整備

部合計：657,799千円

事業名	概 要	(財源)	予算(千円)
デジタル マーケティング事業	・道内観光消費動向調査・分析等 ・データ連携を活用した観光情報の発信	負担金	34,167
サステナブル観光 環境構築事業	・伴走支援事業(サステナ枠)	負担金	50,000
持続可能な観光地 づくり推進事業	・北海道住民満足度調査(住民・従業員・経営者)	負担金	59,394
持続可能な観光地 づくり推進事業	・【拡充】旅行者マナー啓発、住民向け啓発等	宿泊税	64,507
観光情報基盤 構築事業	・【新規】マーケティングサイト(ダッシュボード)構築 ・【新規】観光データデジタルプラットフォーム構築	宿泊税	299,112

主なR8事業計画(観光インフラデザイン部)2/2

データ整備や観光人材の育成・確保などの観光インフラ整備

事業名	概 要	(財源)	予算(千円)
観光人材確保 加速化事業 (計14事業)	・【拡充】観光教育出前授業(小中学校)、観光教材開発 ・【新規】道民向け観光教育の啓発、機運醸成	宿泊税	150,619
	・【新規】商業高校等向け「観光ビジネス授業」浸透 ・【新規】大学向け観光関係講義、ワークショップ		
	・【新規】北海道観光の未来を担う中堅層向けセミナー ・従業員向け研修、外国語ガイド育成研修		
	・出前講座(高校、専門学校、大学) ・職場見学会、インターンシップ、学校交流会		
	・観光人材バンク設置、マッチングイベント ・相談窓口設置、専門家派遣		